

今治「バリシップ」にて外航海運セミナーを開催

日本船主協会は、外航海運の概要について広くご理解いただくため、広く一般の方を対象としたセミナーを開催しています。

今般、今治で開催された国際海事展「バリシップ」の会場にて、5月27日（土）一般公開日に、「外航海運の現状と課題～外航海運の役割をわかりやすく説明します！～」と題したセミナーを開催し、外航海運の概要や安全運航への取り組み、船員の仕事等について、当協会田中俊弘常務理事が講師となり、身近な例やクイズ等も交えながら、わかりやすく解説しました。

同セミナーには、製造、物流、官公庁、教育、金融関係者等約70名が参加し、船上での生活の様子や船から見える景色など、船上経験者ならではの講話に、参加者からは感嘆の声が上がり、普段経験することのない話に興味を持たれた様子でした。

また、展示会場では当協会会員船主等がブースを出展し、外航海運の重要性を伝えるとともに、海運を身近に感じてもらうよう、子どもを主な対象とした操船シミュレーター体験会等を実施しました。

外航海運セミナーは、今後東京（7月4日（火））および神戸（7月14日（金））にて開催する予定です。



▲当協会田中俊弘常務理事



▲セミナーの様子



▲今治外航船主出展ブース